



6月定例会

今回の定例会から最前列中央席の3席分を質問席としました

八幡平市議会議員議席表

議長		議会事務局	
副市長		市長	
演台		教育長	
6 渡邊 正	5 工藤直道	4 工藤 剛	3 渡辺義光
15 高橋悦郎	14 伊藤一彦	13 高橋 守	12 田中榮司夫
24 瀬川健則	23 高橋光幸	22 北口和男	21 米田定男
傍聴者席		記者席	
傍聴者出入口			

※市当局席は、市長など一部を除き、議案などに応じて入れ替わるため、ここでは表示していません。
※この議席表は、6月定例会からのものです。

各常任委員会などの委員構成 (◎は委員長、○は副委員長)

総務常任委員会	◎関 善次郎 渡邊 正	○三浦 侃 瀬川健則	米田定男 (議長)	伊藤一彦	田中榮司夫	田村 孝
教育民生常任委員会	◎小野寺昭一 渡辺義光	○遠藤公雄 立花安文	高橋悦郎	高橋 守	古川津好	工藤 剛
産業建設常任委員会	◎工藤直道 小笠原壽男	○高橋喜代春 大森力男	高橋光幸	北口和男	大和田順一	松浦博幸
議会運営委員会	◎古川津好 瀬川健則 (議長)	○田中榮司夫 高橋光幸 (副議長)	米田定男	関 善次郎	小笠原壽男	田村 孝
議会広報特別委員会	◎伊藤一彦	○渡邊 正	三浦 侃	高橋悦郎	大森力男	立花安文
盛岡地区広域行政事務組合議会議員	伊藤一彦	(任期：平成22年5月11日から)				
盛岡北部行政事務組合議会議員	三浦 侃 工藤 剛	古川津好 渡辺義光	高橋喜代春	(任期：平成22年5月11日～平成26年4月30日)		
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員	遠藤公雄	(任期：平成22年5月11日から)				
農業委員 (議会推薦)	松浦博幸	(任期：平成22年5月11日～平成24年8月31日)				
監査委員 (議会選出)	小笠原壽男	(任期：平成22年5月11日～平成26年4月30日)				

(◎は会長、○は副会長)
議会政務調査会 ◎大和田順一 ○北口和男
理事(8人) = 各常任委員会と議会運営委員会の委員長、副委員長
※議会政務調査会は、市政全般にわたって調査、研究、協議を行う議員全員で構成される任意の団体です。(役員任期：平成22年6月22日から2年間)

会派構成 (○は代表)

新生会	10人	○田村 孝 松浦博幸 瀬川健則 田中榮司夫 工藤 剛 工藤直道 大和田順一 渡辺義光 大森力男 立花安文
八起会	4人	○高橋 守 小笠原壽男 小野寺昭一 三浦 侃
自由クラブ	4人	○関 善次郎 遠藤公雄 渡邊 正 高橋喜代春
緑松会	3人	○高橋光幸 伊藤一彦 古川津好
無会派	-	米田定男(日本共産党) 高橋悦郎(日本共産党) 北口和男(公明党)

※会派とは、基本的政策が一致する議員の団体のことをいい、本市議会では原則として3人以上の議員で構成することとしています。

報告

●八幡平市産業振興株式会社 社の経営状況報告について

第三セクター・八幡平市産業振興(株)の平成21年度経営状況を報告したものです。(1万円未満は四捨五入)

▼総務経理部(3574万円)の損失)：総務経理課など三課の管理経費を計上

▼給湯事業部(2449万円)の純利益)：温泉開発は、給湯売り上げが前年比0.1割の増。森乃湯は、岩手山パノラマラインの開通などの効果により入浴者が前年比6.2割の増加。不動産販売は、自社物件の売却などにより売り上げが伸長。八幡平トラウトガーデンは、

一般質問に11人が登壇

全14議案を原案どおり承認・可決

6月18日から24日まで、市議会議場で市議会第2回定例会(6月定例会)を開催しました。本定例会では、一般質問に11人が登壇したほか、全14議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。ここでは、6月定例会での主な報告や議案審議、一般質問の内容などについて紹介します。

ミネラルウォーター部門で生産・販売体制を構築

※(株)エコワとの違約金請求裁判で、(株)エコワが八幡平市産業振興(株)に対し300万円の違約金を支払うことで和解が成立

▼物産事業部(2380万円)の純利益)：道の駅にしね・生産物直売所は、利益を改善。物産館あすびーては、ETC割引の効果などにより前年を大きく上回る収益。テレクトラック安代は減収。山ぶどう販売は販路拡大などを実施。安比塗漆器工房は、人件費の計上により利益は前年を下回った。

▼温泉事業部(172万円の損失)：岩手山焼走り国際交流村は、宿泊部門の売り上げの伸びなどによって黒字に転換。なかやま荘とあずみの湯は、売り上げが増加。安代林業センターは、入浴者が6割伸びたが、利益は前年を上回ることができなかった。

▼全体：1084万円の純利益(黒字)

問 産業振興(株)は配食弁当の販売事業にも取り組んでいるが、この事業を伸ばすため、また、雇用の場をより定着させるため、休止している松尾地区の給食センターを利用できないか。

答 現在、継続的に内部検討している。第三セクターが使うということになれば、施設利用料の減免も可能と思われる。

問 年度ごとに会計決算書の様式が変わるのはなぜか。

答 会計事務所指導によるものである。

問 法人税などのように、前年度に決算額が出ていないものを予算ゼロで計上するのは不自然ではないか。

答 確かに予算額が推計できる。次年度は改めたい。

●社団法人八幡平市体育協会の経営状況報告について

市体育協会が管理する体育施設を平成21年度に利用した人は、20年度より5060人多い17万5477人であった。また、体育施設管理会計を合わせた平成21年度収支決算は、収入8612万円、支出8511万円であった(1万円未満は四捨五入)。

問 野球場利用者の急激な減少理由は。

答 高校野球の人気カードの組み合わせによるものである。